

# 令和5年度 都市政策部運営方針

部局名 : 都市政策部

部局長名 : 山野 真範

## 基本方針（政策目標）

本市の都市づくりは、「泉大津市都市計画マスタープラン」「泉大津市立地適正化計画」等に基づき、頻発化する自然災害、ポストコロナ、激変する社会情勢に対応するため心身共に豊かな生活環境、持続可能な都市をめざし、令和5年度においては、以下の事業に取り組んでまいります。

- ① “ヘルシーパーク（自分の身体は自分で整える）”をテーマにまちの中心に位置しながらも、みどり豊かな自然が感じられるとともに、体験、体感できる空間等として『シーパスパーク』エリアを供用し、官民連携・市民共創によるアビリティタウンの形成を先導する場として、まち全体の魅力向上を図ります。
- ② かつて賑わいのあった泉大津駅西地区の活性化を図るため、歩行者・自転車の安全性の確保、有事の際の避難路並びに、緊急車両通行路の確保等を目的に、都市計画道路泉大津駅前通り線の整備を進めます。
- ③ 市民が安心して暮らせる環境を構築するため、「住宅マスタープラン」等に基づき、二田・寿市営住宅の集約建替え事業について、公民連携のスキームにより、実施方針の策定を行い、建て替えを推進します。
- ④ 「空家等対策特別措置法」に基づき、所有者へ空家等の適正管理を働きかけるとともに、空家除却補助金交付制度の運用により、管理不全となった空家等の除却を促進します。
- ⑤ 近年、頻発する大規模災害への備えとして、また、高度成長期以降に整備された多くのインフラの老朽化に対して、道路施設の点検、維持管理、更新を確実に進めます。また、令和4年度より進めている市道泉大津中央線 JR 阪和線跨線橋の補修工事を完了します。
- ⑥ 本市域内の移動の約7割は徒歩と自転車という状況にあり、自転車運転マナーの向上を図るため、引き続き市道南海中央線の自転車通行空間の整備を推進します。また、泉大津駅西地区において、市道小松町4号線の道路構造の変更に伴い新たな交通事故対策として、AI技術を活用し、事故発生前に潜在的な事

故リスクを発見し、予防策を講じる実証実験を行います。

- ⑦ 「第3次泉大津市環境基本計画」「地球温暖化対策地域推進計画」に基づき、環境保全に関する取組みを官民連携・市民共創で推進するとともに、泉大津市地域環境基金を活用した補助制度の拡充や、泉北クリーンセンターの廃棄物発電余剰電力の公共施設への導入を進め、電力の地産地消を推進し、2050年ゼロカーボンシティに向けた取組みを行います。
- ⑧ 水道事業を取り巻く社会環境の変化や自然災害をはじめとする不測の事態にも的確に対応し、安全で良質な水を安定的に供給するため、水道施設の計画的整備・更新の強化に努めます。
- ⑨ 給水人口の減少等による有収水量の減少、老朽化した配水管の更新事業や技術職員の不足など諸課題の解決策のひとつとして、大阪広域水道企業団への事業統合による広域化の検討を進めます。
- ⑩ 近年、頻発化する大規模災害への備えとして、また、高度成長期以降に整備された多くのインフラ施設の老朽化に対して、下水道施設（ポンプ場、幹線管きよ等）の適正な維持管理を進めます。
- ⑪ 近年の降雨状況等を踏まえ、雨水整備に当たっての優先順位を構築するため、新たに雨水整備計画を策定します。また、穴師地区における浸水被害の軽減を図るため、市道泉大津中央線の池浦町五丁目、宮町地内において、雨水管きよの布設工事を進めます。
- ⑫ 安定的な下水道事業運営のため、適正な使用料の徴収に努めると共に、水洗化促進に向けた啓発を継続します。